

【請願第43号関係】

問 宇野 裕委員

子供の人数を少なくすればよいというのではなく、今は教師の質の向上を最優先に考えるべきであると思うがどうか。

---

答 渡邊教職員課長

教師の質の向上については十分に取り組んでいきたい。

---

【教育への国家統制を強める学習指導要領改定に反対する意見書案関係】

問 宇野 裕委員

主権者である国民が選んだ国会議員によって教育基本法が改正されたのであって、法改正により道徳心を養うべきであると明記されたことを受けて教育指導要領を改訂していくことは法治国家として当然のことであると思うがどうか。

---

答 岡田幸子委員

教育基本法改正のときにはいろいろな議論の中で愛国心の押しつけがなされるのではないかという懸念があった。結果的に数の力によって国会で強行採決されたのであって、法改正後も議論していくことは当然である。

---

問 宇野 裕委員

多数決による採決結果を否定するという事は、民主主義を否定しているということになると思うがどうか。

---

答 岡田幸子委員

改正された教育基本法についてはこれからいろいろな検証をしていく必要があり、それによって新たな方向性が出てくる可能性もある。さらにいろいろな議論を積み重ねていくことが大事である。

---

【諸般の報告・その他の関係】

問 宇野 裕委員

県教育委員会の指針である「輝けちばっ子」の中に道徳教育の推進として多様な体験活動を取り入れることが必要であるとしているが、多様な体験活動には茶道、華道、武道は入るのか。

---

答 嘉村参事兼指導課長

県教育委員会として道徳教育の充実のためにさまざまな取り組みを行っているが、研究会等で紹介している中には茶道、華道、武道も含まれている。具体的な内容としては各学校の総合的な学習の時間に「地域の人から学ぶ」をテーマに学校支援ボランティアの人々が茶道や華道の講座を開設し、児童が選択して体験学習に取り組んだり、クラブ活動として生け花クラブを開設し、児童が生け花を直接体験したり、学校行事の中で地域の人が茶道教室を開き、児童が体験することなどが行われている。

---

問 宇野 裕委員

本会議の一般質問で教育長が「教科書の内容は精選された」と答弁していたが、現在の教科書の内容が昭和 43 年ごろに比べて半分くらいになっていることをどのように認識しているか。

---

答 嘉村参事兼指導課長

教科書のサイズが B5 版から A4 版に大きくなっていること、子供たちへの対応として写真やグラフが多くなってきていることなどのさまざまな要素があり、教科書のページ数だけで単純に比較できない部分が多いが、学習指導要領の改訂によって教科書の内容が 3 割程度削減されたと一般的に言われているので、教科書もこれに相当する内容やページ数の減があるのではないかと認識している。

---

問 宇野 裕委員

以前は 53 個の化学記号を扱っていたものが 6 個程度になるなど、現在の教科書は内容が 7 割から 8 割も削減され、ページ数も減っている。県教育委員会は現在の教科書の内容が昭和 43 年ごろの内容に比べて半減されたことを認めたと理解してよいか。

---

答 嘉村参事兼指導課長

半減しているかどうかについては何とも答えられないが、学習指導要領の改訂による内容の削減に見合う教科書の内容の削減はあったと認識している。

---

要望

【諸般の報告・その他の関係】

宇野 裕委員

多様な体験活動としての茶道、華道、武道について、「全国では幼稚園のときから茶道を取り入れている例もある。実施については市町村の判断になると思うが、県としても市町村の負担にならないようにリーダーシップを発揮し、積極的に進めてほしい。」との要望があった。

---

## 意見

【請願第 42 号、沖縄戦における「集団自決」の記述に関する教科書検定意見の撤回を求める意見書案関係】

宇野 裕委員

「本請願の要旨には、根拠がないにもかかわらず沖縄戦での県民集会の参加人数が 11 万人以上であるとされていたり、「さまざまな角度からの調査研究が行われ、事実が明らかにされていた」など断定的な表現が多い。検定意見にはいろいろな意見があることは認めるが、本件の取り扱いについては慎重に考えるべきであると思う。」との意見があった。

---